

# 令和4年度 飯田小学校 学校評価だより

## (中間結果報告)

令和4年10月

### 《学校教育目標》

### 心をあわせ、はつらつと、学びの道にいそしむ児童の育成

令和4年度前期の学校評価として7月に実施した児童・保護者・学校職員の三者によるアンケートをもとに、子ども達や保護者の皆様の回答や御意見をまとめました。その結果を8月30日の学校運営協議会で委員の皆様にご協議していただきました。委員の皆様にも評価していただき、子どもたちの様子や教育活動について意見交換がなされました。成果が見られた項目と課題となった項目について一部お知らせします。併せて、保護者や学校運営競技委員より頂いたご意見の一部も紹介いたします。

<中間評価結果>

取組項目	学校自己評価	運営委員評価
① 学びが楽しい学校づくり	A	A
② 主体的に課題解決する児童の育成	B	B
③ 家庭学習習慣の確立	A	B
④ 特別活動の充実	C	B
⑤ 規範意識の高揚	B	B
⑥ 自己健康管理能力の向上	A	A
⑦ 家庭・地域との連携協力体制の確立	B	B
⑧ 業務改善	D	C

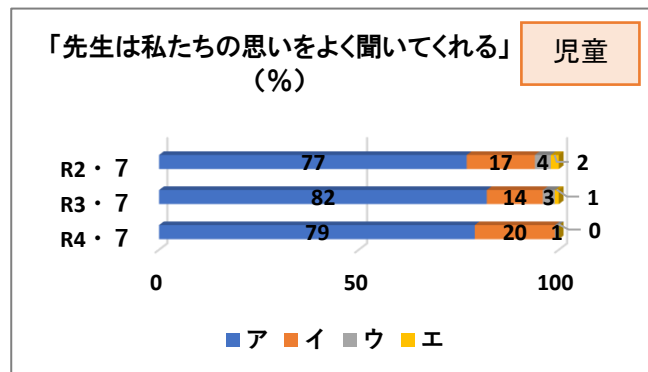
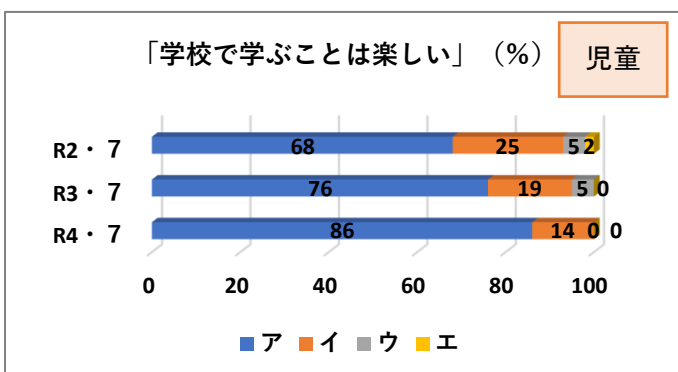
④と⑤の項目は総合的にみてB評価ですが、様々な評価がありました。

赤字は評価がC、Dのもの

<成果がみられた取組>

#### ①「学びが楽しい学校づくり」

児童アンケートの結果を見ると、低・高学年とも肯定的な回答をしており、①については、昨年度と比較しても高くなっています。「先生は私たちの思いをよく聞いてくれる」の項目でも肯定的回答をしている児童が多いことから、児童同士、また児童と教職員の信頼関係を重視する方向に進んでいると判断します。



グラフ凡例  
 ア・そうである  
 イ・おおむねそうである  
 ウ・あまりそうでない  
 エ・そうでない



「笑いの花さく歓迎会」



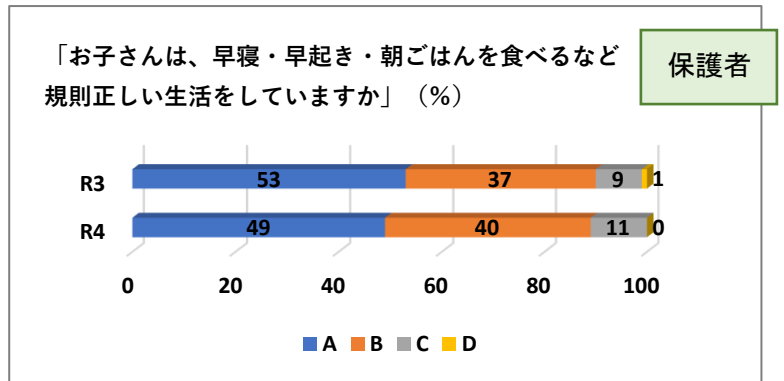
「生き物観察会」



「3・6年生合同体育 運動会ダンスの話し合い」

## ⑥「自己健康管理能力の向上」

バランスアップ習慣で、児童自らが目標時間を決めて取り組んだことや保健委員会の発表で睡眠の大切さについて考える場を設けたことなど、自分たちの生活習慣について見つめ直す機会を設けたことが効果的だったといえます。しかし、保護者アンケートの結果をみると、規則正しい生活ができている割合は昨年度より減っていることから、自ら進んで実践しようとする意識がもう少しというところです。今後は生活リズムと体の成長について学ぶことに取り組んでいく必要があると考えます。

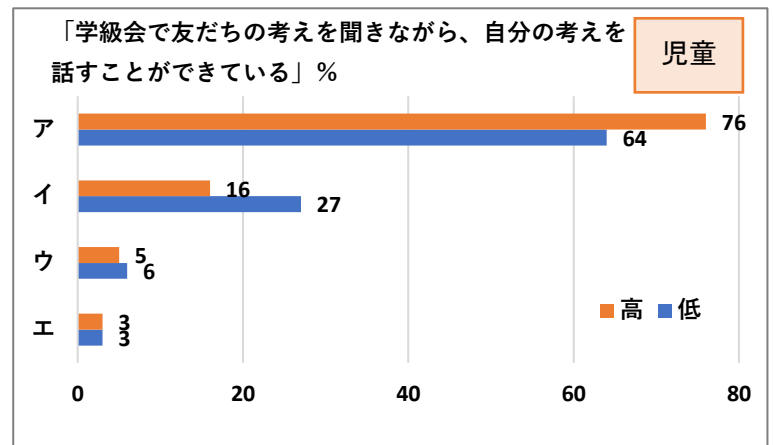


グラフ凡例  
 A・そうである  
 B・おおむねそうである  
 C・あまりそうでない  
 D・そうでない

## <課題となる取組>

### ④特別活動の充実

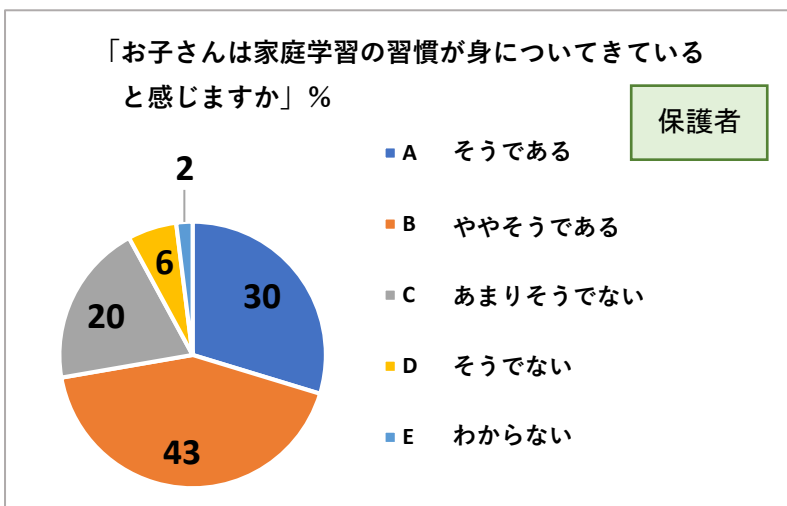
学級生活や学校生活をよりよくするため、よりよい人間関係づくりを進め、互いの良さや個性、多様な考えを認め合い、合意形成を図りながら課題解決できることを目指しています。そのために、子ども達が主体となる委員会活動や行事を行ってきました。しかし、教職員アンケートより、話し合い活動を通して子ども達にどんな力をつけたいのかというゴールの姿を意識して取り組むことに課題がみられました。再度、子ども達と目的を共有しながら今後も継続していきます。



### ⑨ 業務改善

1学期は、地震対応、感染症対策もあり、超過勤務が多い職員がいました。学校運営協議委員の方からは、それを評価の対象に含めなくてもよいのではないか、というご意見をいただきましたが、今後は、月3回の定時退庁を確実に遂行することや、土日の勤務状況を把握することに努め、効率的、協働的に業務遂行することの意義を再度確認していきます。

## ○家庭学習の習慣化<保護者アンケートの結果から気になったこと>



家庭学習の習慣化が図られていないという回答が26%でした。家庭学習には、学校で習ったことをしっかりと身につける、勉強する習慣をつける、自分から進んで勉強することができるようにするなどの意義があります。また、粘り強く取り組む力(忍耐力)、時間を考えながら取り組む力などの非認知能力も鍛えられていくと考えます。低学年からの学習習慣の定着が鍵となります。家庭学習をどのように取り組んでいけばよいか、子ども達自身に考えさせたり、家庭学習の在り方(質・量)を学校全体で再考したり、ご家庭での様子も情報共有しながら連携して取り組んでいきたいと思ひます。

## <保護者アンケート記述より> (一部です)

夏休みのプール開放の日数が減り残念です。ラジオ体操は早起きの習慣にとってもよく、友だちとも会える楽しい機会なので、8月31日までしても良いと思います。

→プール開放について、PTA役員会で検討してみます。

地震発生時に連絡網が回ってきたが、他に対応したい事が色々あり困った。

→対応の仕方を確認します。

夏休みプール当番表を、できたら6月中に配付してほしい。

→子ども教室との関係もありますので、市教育委員会と早めに連絡・調整をしてみたいと思います。

保護者アンケート4についてですが、宿題を自主的にやる事はほぼなく、時間は毎日ムダに長くかかり見直しだけで1、2時間とられます。家庭学習の習慣は身につけておらず、怒りながら、させているという感じです。苦しいですが、続けることで何か身につく物があるのだろうかという思いです。

→家庭と学校とさらに連携して取り組んでいけるようにしたいと思います。

ワクチンを受ける、受けないは家庭の判断であり、差別はあってはならないと思います。が、ワクチンを受けない子が、受けると決めた子に「あんな怖いワクチンを打つのか？ありえない。」と言われたと聞きました。せっかくワクチンを打つと決めたのに、わざわざ言う必要はないと思います。学校側からも再度指導していただくと助かります。

→感染症について、対応については多様な考えがあつてよいことなどを継続して指導していきます。

自転車について、遅い時間に乗っている子、学校で決められた範囲を超えて乗っている子を見かけるので、心配になります。

→学校で再度指導します。ご家庭でもご協力をお願いいたします。

どの学年においても水泳の授業に熱心に取り組んで頂き、感謝しております。

→ありがとうございます。

## <学校運営協議委員の方より> (一部です)

今後は、学校が目指すビジョンに近づけるために、地域の「人・もの・こと」に関わる体験をする「場作り」を各学年ですること。

→ビジョンも、学校だけでなく、家庭・地域の皆さんで共有していきたいと思います。

飯田小の子ども達は十分地域の人と関わってきている。婦人会や老人会などともコミュニケーションを取っている。祭りを通して地域住民の皆さんとも距離は近いと感じる。

友だち同士とても仲がいい。しかし、意見の強い子、弱い子がいて、弱い子は自分の意見を通すことができず、あきらめてしまうことがある。

日々の子どもの様子から

○学習を、毎日計画を立てて取り組んでいる子

○わからない問題はとぼしたり、答えをうつしたりしている子

○自分で調べることを、問題をくり返し読むことを面倒だと思う子

など様々な子ども達がいるととらえている。

ICTの活用は、現代社会についていくためにはとても大切なことだと思う。

子ども達は、宿題を家族にみてもらっているのだろうか。

大変貴重なご意見を頂きましてありがとうございます。飯田小学校は、家庭・地域の皆さんと一体となつて、お子様たちの教育にあたってまいりたいと思っております。今後ともご協力の程、お願い致します。